

ゴルフ合同合宿

明德義塾高校と福井工業大学付属高校が土佐ユートピアカントリークラブで合同合宿を行いました。明德義塾高校は2月9日(日)から11日(火)まで49名、福井工業大学付属高校は9日(日)から12日(水)まで32名が参加しました。



合同で練習する選手ら

練習したい。いいスタートを切り、1年間頑張りたい」と話しました。

同合宿は、「トップレベル同士の高校が一緒に行くことでレベルアップを図れるのでは」と町スポーツツーリズムゴルフ実行委員の植田雄二事務局長が計画。9日(日)には、歓迎式が行われ、松田春喜副町長から「気候が良い黒潮町でいい練習をしてもらい、力をつけて頑張ってもらいたい」と激励のあいさつがありました。その後、町特産の文旦が贈呈されました。福井工大の久木匠登キャプテンは、「福井県では冬は雪でコースに出られないので、暖かい高知県でしっかりと練習したい。」

高知サイエンスフェスタWEST

高知みらい科学館が主催する「高知サイエンスフェスタWEST」が2月8日(土)・9日(日)、ふるさと総合センターと大方あかつき館で開催されました。

同イベントは、「子どもたちに理科に興味を持ってほしい」という思いのもと昨年から実施され、会場には、科学実験や理科に関する工作ができる体験ブースなどが用意されました。

両日とも開催された「サイエンスショー」では、同館の教員が液体窒素などを使った実験を行いました。

また、移動式のプラネタリウムで星空を楽しむ「ミニプラネタリウム」では、担当者が星座に関する神話や星の探し方を説明しました。参加した下田の口の宮川節子さんは、「天体に興味を持っていたのでこのような機会嬉しいです。黒潮町でも星がきれいに見えるので、勉強になった」と話しました。



サイエンスショーでの実験

林間学校

2月14日(金)、幡東森林組合主催「第31回林間学校」が開催され、南郷小学校6年生、入野小学校5年生、三浦小学校6年生の40名が参加しました。

この取組は、子どもたちに森林に興味・関心を持ってもらうことを目的に毎年開催され、山でスギなどの植樹や間伐体験を実施していましたが、近年、入野松原のマツクイ虫による被害拡大を受け、昨年から入野松原でクロマツの植樹体験を行っています。

今回は雨天のため、町林業総合センターで室内学習が実施され、児童らは紙芝居などで森林の働きについてクイズなどを交えながら学びました。また、木の枝などを使った工作やエコバッグを作る体験教室も行われました。



紙芝居で森林の働きについて学ぶ児童ら

三浦小学校6年生の宮上祥鳳さんは、「森林がとても大事なものだということを知ることができました。」と話しました。この日、小

学生が植樹する予定だった約50本のクロマツは、天候が回復したため、同日午後、高知水源林育成士会や入野松原保存会により入野松原に植樹されました。また、17日(月)には、被害を受けていないマツの幹に穴を開け、直接薬剤を打ち込みマツクイ虫を予防する「樹幹注入」が幡東森林組合によって行われました。

黒潮町公式インスタグラムキャンペーン くろフォト2020 ~海辺でひらひら The 3rd~

たくさんのご応募ありがとうございました

町公式インスタグラムでは、「いつも見るあの景色も、見方を変えたら何通りも楽しめる」をコンセプトに、黒潮町に関連する写真を掲載しています。ぜひ一度アカウントを覗いてみてください。~ Please follow us ~



町公式インスタグラム:@kuroshio_town

〇お問い合わせ 本庁 企画調整室 企画振興係 ☎43-2177